

中央市観光振興基本計画

実り豊かな生活文化都市



昭和町

南アルプス市

中央市

甲府市

笛吹市

富士川町

市川三郷町

山梨県

山梨県中央市

はじめに

中央市長 田中 久雄



中央市は名前のとおり日本のまんなか山梨のまんなかに位置し、南に富士山、北に八ヶ岳、西に南アルプスの山々を望む豊かな自然に囲まれた、県内でも有数の野菜生産地であります。その一方で市内には山梨大学医学部と併設される付属病院、大型商業施設、工業団地があり、多方面において都市基盤整備が進んだ、自然と都市空間の調和のとれた潤いと安らぎが感じられるまちです。

本市では、観光振興施策への取り組みとして、平成 21 年「中央市観光振興基本計画」を策定し特色ある地域づくりを進めてまいりました。この度、計画の終了に伴い、より効果的な観光振興を推進するため、今までの取り組み状況や課題、社会情勢の変化等を踏まえた、新たな「観光振興基本計画」を策定いたしました。

急速な少子高齢化社会の進展により定住人口の減少が予想されるなか、観光による交流人口の増加は、地域活性化や経済活動を誘発させる手段でもあります。

本市は、首都圏に近い位置にあり、中央自動車道、中部横断自動車道などの高速道路網や、新山梨環状道路などの交通網の利便性に恵まれています。また、リニア中央新幹線の山梨県（仮称）駅が本市に隣接する甲府市大津町周辺に計画され、品川（東京都）―名古屋間で平成 39 年に開業予定です。本市では路線が市内を東西に横断し、保守基地が建設される計画となっております。これにより、企業誘致による雇用の拡大や観光資源の活用による交流人口の増加などあらゆる面で飛躍的な発展をもたらすと期待されます。

今後におきましても、市の産業である農業や美しい自然環境、歴史文化や地域伝統芸能などを観光資源とし、市民の皆さまや各種団体等との協働により、「第 1 次中央市長期総合計画」の基本政策の一つである「活力と交流の拠点づくり・連携と挑戦の観光振興」の実現に向け、積極的かつ着実に取り組みを進めてまいります。

結びに、この基本計画の策定にあたり、貴重なご意見、ご提言をいただきました多くの皆さまや、熱心にご審議いただきました中央市観光振興基本計画策定検討委員会の皆さまに、厚くお礼を申し上げます。

平成 27 年 6 月



目次

序章	4
① 観光振興の背景と意義	
② 基本計画の位置づけ	
③ 基本計画の期間	
観光振興基本計画	
第1章 観光振興の着眼点	5
① 中央市の現状と背景	
② 観光振興の着眼点	
第2章 中央市の観光の現状と課題	7
① 中央市の観光の現状	
1. 山梨県の観光動向	
2. 中央市の観光動向	
3. 主な観光施設・資源	
4. 主な観光イベント	
5. その他これまでの主な取り組み	
② 中央市の観光の課題	
第3章 数値目標	15
第4章 観光振興施策・事業	17
① 施策の展開	
1. 魅力ある観光拠点づくりと整備	
2. 農林業を活かした観光の推進	
3. 地域資源を活用した宣伝戦略の強化	
② 観光振興施策・事業の段階的な取り組みの推進	
資料	
観光施設・資源	22
文化財	28

序章

1 観光振興の背景と意義

私たちの「安全・安心で豊かな生活」は、基となる経済的側面の他に、生きがいや安らぎを生み出すための自然や文化との触れ合いの場を必要としています。急速な少子高齢化社会の進展により、定住人口は大きく減少していくことが予想されるなか、観光による地域活性化のための交流人口の拡大は、経済活動を誘発させる有効な手段となります。

国は観光を地域創生として取り組む決意を表明しており、近年は諸外国からの観光客も増加しています。また県は数年前から観光を新たな地域産業と位置付けし、観光振興に力を入れてきました。

中央市も地域固有の自然や歴史ある地域文化、市の産業である農業などを観光資源とし、地域の特性を活かした観光振興を推進していく考えです。

地域の幅広い関係者が一体となって地域の活性化に寄与し、また、市民が持っている知識・技能を主体的に広く地域間の交流に活かしていくことで、観光として地域おこしへ発展していくと期待されます。

2 基本計画の位置づけ

この基本計画は、市政運営の基本指針である「第1次中央市長期総合計画・後期基本計画」を上位計画とする観光振興に関する部門計画であり、「基本政策・活力と交流の拠点づくり」「基本施策・連携と挑戦の観光振興」の実現に向けた考え方を示すものです。

基本的には「市」が主体となる施策を中心に記述していますが、国・県・財団法人、その他特定非営利活動法人（NPO）、民間などと協働し、地域の自助努力を基本に官民一体となって良質な地域づくりを進めるため、その自主活動を促進・誘導する役割を果たすものです。

3 基本計画の期間

基本計画の期間は、平成27年度から平成34年度までの8年間とします。しかしながら、大きな社会情勢の変化や、本市観光を取り巻く環境の急激な変化があった場合については、今後の観光振興のあり方について検討するため、関係者や学識経験者などで構成する観光振興推進委員会（仮称）を開催（8年以内）し、その都度見直すこととします。





観光振興の着眼点

第1章 観光振興の着眼点

1 中央市の現状と背景

中央市は市制施行以来「実り豊かな生活文化都市」を将来像に掲げ推進しており、安全で安心な住まいの環境として、近年、住人口は維持されています。

「全国住みよさランキング 2014 年版」においては全国 29 位となっており、特に利便度では全国 6 位と評価を受けています。

また、リニア中央新幹線の山梨県（仮称）駅が中央市に隣接する甲府市大津町周辺に計画され、平成 39 年には開業予定で、地域間の交流の拡大や社会・経済・文化・産業・観光など、あらゆる面で飛躍的な発展をもたらすと期待されます。

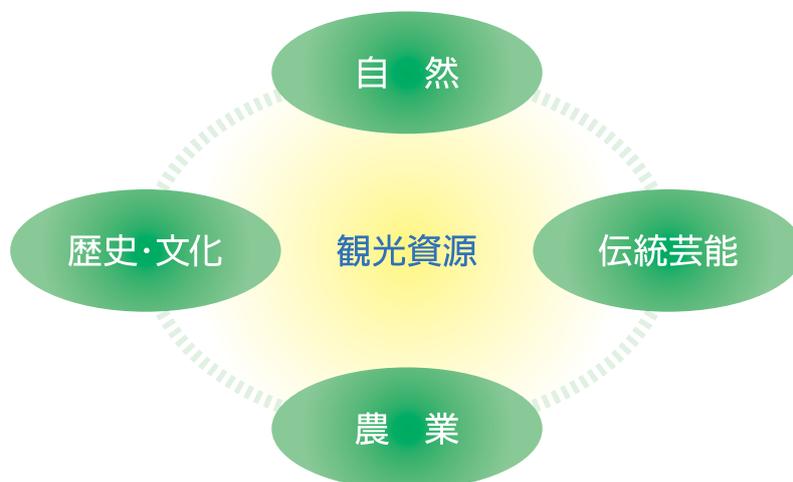
2 観光振興の着眼点

中央市には、2つの JR 身延線駅、山梨大学医学部付属病院、大型商業施設、図書館、道の駅とよとみ、四季新鮮収穫広場た・から、中央市豊富郷土資料館、シルクふれんどりい、総合会館などの施設や、古い歴史を持つ寺社が数多くあります。

また、県内有数の野菜生産地でもある農業や、地域固有の自然、生活に根ざした地域文化芸能もあります。

美しい自然環境、歴史文化や地域伝統芸能、農業と連携した体験などを取り入れた観光資源の掘り起しにより、地域住民が楽しめる観光拠点を充実することで、県内外からの交流人口の増加につなげます。

人には新しいもの・珍しいもの・素晴らしいものを見てみたい体験したいなどの願望があり、一方で自分の趣味や努力して積み上げた能力や成果を見せたい・説明したい・教えたいなどの願望もあります。これらを活かすため、市内諸施設を活用して市民の持っている知識・技能・成果を披露できる場をつくり、機会を誘導することで新たな観光を生み出すと考えます。





中央市の観光の現状と課題



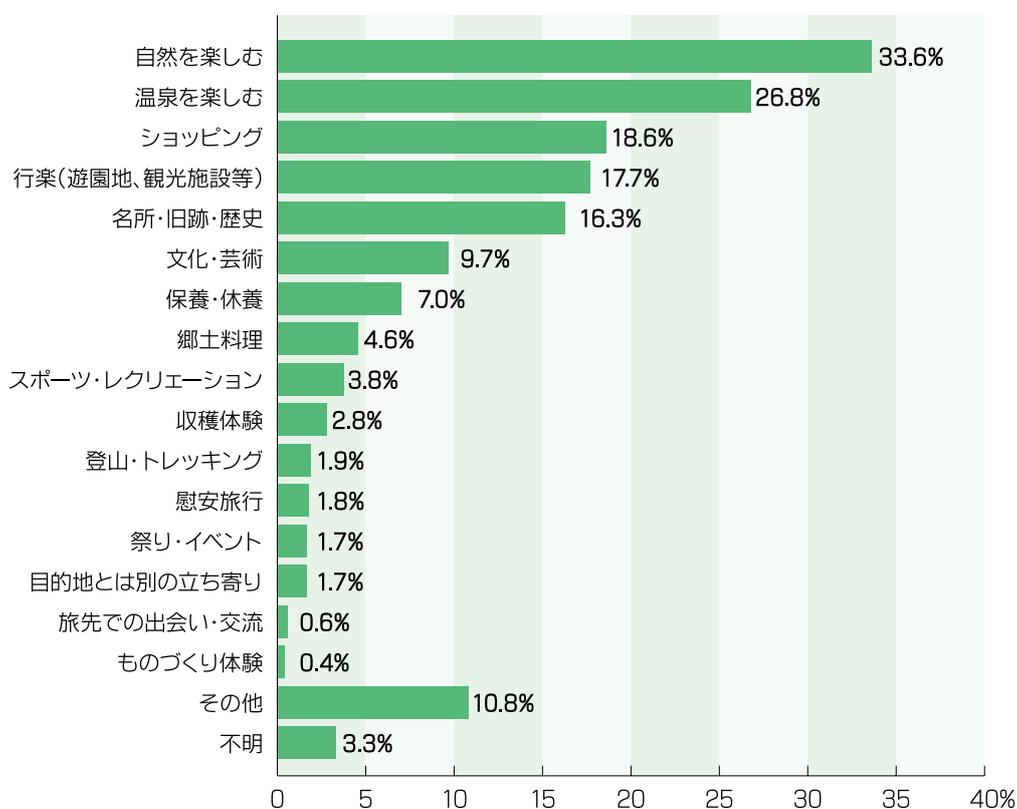
第2章 中央市の観光の現状と課題

1 中央市の観光の現状

1. 山梨県の観光動向

平成25年山梨県観光入込客統計調査結果による観光客延人数は、4,351万5千人と推計され、近年は増加傾向にあります。また、観光客へのアンケート調査結果では、観光客の旅行目的は「自然を楽しむ」が最も高く、次いで「温泉を楽しむ」となっています（図参照）。

観光客の旅行目的（※平成25年山梨県観光入込客統計調査より） 調査時点：平成25年 ※複数回答



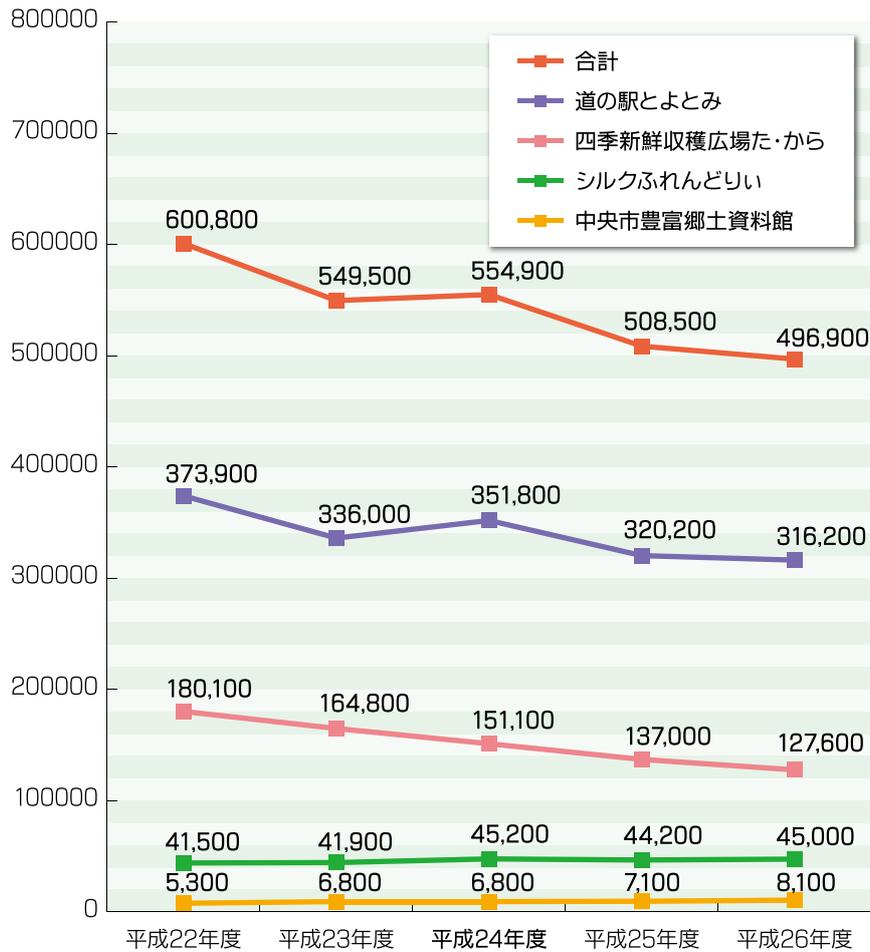
旅行目的	冬	春	夏	秋	H25年	H24年	比較増減
自然を楽しむ	21.1%	36.9%	32.5%	44.0%	33.6%	29.2%	4.4
温泉を楽しむ	33.1%	29.5%	22.4%	22.1%	26.8%	25.6%	1.2
ショッピング	21.8%	18.6%	17.2%	16.8%	18.6%	15.8%	2.8
行楽(遊園地、観光施設等)	19.5%	19.5%	15.3%	16.5%	17.7%	17.9%	▲0.2
名所・旧跡・歴史	21.1%	16.1%	13.8%	14.4%	16.3%	16.7%	▲0.4
文化・芸術	9.6%	9.1%	9.4%	10.7%	9.7%	8.9%	0.8
保養・休養	5.6%	8.4%	6.9%	7.2%	7.0%	6.4%	0.6
郷土料理	4.4%	4.8%	4.0%	5.1%	4.6%	3.3%	1.3
スポーツ・レクリエーション	5.9%	2.6%	3.4%	3.4%	3.8%	3.1%	0.7

2. 中央市の観光動向

市の観光入込客数統計において、施設別の合計は減少傾向にあります。要因として、東日本大震災や笹子トンネルの崩落事故の影響、景気の低迷による影響、近隣への農産物直売所の増加、雪害による農産物収穫量の減少などが挙げられます。

調査対象は集客が計れる公共施設である「道の駅とよとみ」「四季新鮮収穫広場た・から」「シルクふれんどりい」「中央市豊富郷土資料館」です。

施設別観光入込客数 (延べ人数) ※数値は10の位以下端数調整 ※平成26年度は見込になります



道の駅とよとみ



四季新鮮収穫広場た・から

3. 主な観光施設・資源

中央市の主な観光施設・資源は次のとおりです。

※施設・資源の場所と説明については資料に掲載してあります。

区分	名称	所在
観光施設・名所	道の駅とよとみ	浅利
	四季新鮮収穫広場た・から	臼井阿原
	山の神千本桜	大鳥居
	妙泉寺しだれ桜	布施
	乙黒桜	乙黒
温泉・宿泊・体験施設	与一弓道場	大鳥居
	シルクふれんどりい	大鳥居
	中央市立田富福祉公園コミュニティセンター	臼井阿原
	中央市立豊富健康福祉センター	大鳥居
	中巨摩地区広域事務組合老人福祉センター	一丁畑
資料館	中央市豊富郷土資料館	大鳥居
公園	シルクの里公園	大鳥居
	中央市田富ふるさと公園（水辺の楽校）	臼井阿原
	中央市玉穂ふるさとふれあい広場	乙黒
国指定重要文化財	木造薬師如来坐像	下三条
	木造聖観音菩薩立像	下河東
国登録文化財	旧小井川郵便局	布施
県指定文化財	八幡穂見神社本殿	布施
	甲斐国志草稿本及び編集諸資料	西花輪
	浅利与一層塔附五輪塔六基	大鳥居
	木造薬師如来坐像	大鳥居
市指定文化財	明暗寺尺八 粘土節 等 30 点以上 ※他市指定文化財については資料に掲載してあります。	

平成 27 年 4 月（現在）



乙黒桜
（中央市玉穂ふるさとふれあい広場）



浅利与一義成公像
（シルクの里公園）



無形文化財の粘土節

4. 主な観光イベント

中央市では、年間を通して様々なまつりやイベントを開催しています。

月	中央市、各施設における祭り・イベント	主催	内容
4	山の神千本桜ハイキング	中央市	
	お山の神さんの春祭り	地区	大鳥居自治会で開催。17日に山頂の社で祭典が行われる。
	れんげまつり(29日)	中央市	
	鬼子母神祭	地区	布施の妙泉寺にて満開の桜のもと、祭りが開催される。
	大興神社春祭	地区	今福の大興神社で地元の小学校児童により平安を願い、浦安の舞(稚児の舞)という神楽を披露する。
5	四季新鮮収穫広場た・から 創業祭	た・から	
	こども春まつり	資料館	
6	スイートコーン収穫祭	道の駅	朝獲りのゴールドラッシュの販売や収穫体験を行う。
	親子ふれあい農村体験	公社	ジャガイモ収穫体験
	教育ファーム田植え・収穫体験(ミニトマト)	た・から	小学校児童・保育園児が田植え及び収穫体験を行う。
7	桃の収穫祭	道の駅	桃の販売や収穫体験を行う。
	伊勢神社茅の輪くぐり	地区	臼井阿原伊勢神社で夏越の祓(なごしのはらい)という神事を行う。半年分のけがれを祓う儀式で1週間ほど輪を自由にくぐれる。
8	与一公まつり(14日)	中央市	
	こども夏まつり	資料館	
9	浅利与一義成公顕彰式典(7日)	中央市	
	教育ファーム 案山子立て	た・から	
10	大興神社秋祭	地区	今福の大興神社で地元の小学校児童により平安を願い、浦安の舞(稚児の舞)という神楽を披露する。また、今福・今福新田を1周する川除け神輿が行われる。
	浅利与一義成公弓道大会	中央市	与一弓道場を会場に行われる。
	教育ファーム 稲刈り	た・から	
11	稲穂まつり(3日)	中央市	
	道の駅感謝祭	道の駅	
	こども秋まつり	資料館	
	四季新鮮収穫広場た・から 収穫祭 ※時期・内容変更あり	た・から	
12	親子ふれあい農村体験	公社	大根収穫体験
	正月飾り、凧作り	資料館	
1	新春福袋販売	道の駅	
	道の駅感謝祭	道の駅	
	道祖神祭	各地区	各地区でどんど焼を行う。
	百万遍講	各地区	大きな数珠を回しながら念仏を唱える。
	節分豆まき	資料館	竿の先の目籠に向け豆をまく。鰯の頭を柎に刺し、門口に刺して厄除けにする。
	ひな祭り展	資料館	1～4月まで開催
	初牛祭	地区	永源寺(下河原)の馬の守護、養蚕や一般農作物の神様を参拝し、屋敷神(稲荷)に赤飯を供える。
3	乙黒若宮八幡例祭	地区	大神事は3月15日と8月15日、小神事は数度行う。

※中央市のまつりについては平成28年度から新しいまつりとして実施します。

※掲載以外にも各団体、自治会等でイベントが開催されております。



道の駅とよみ スイートコーン収穫祭、桃の収穫祭

スイートコーン収穫祭は毎年6月上旬、約2万本のスイートコーン（ゴールドラッシュ）を用意し試食、販売します。そのほか、会場周辺の畑にてもぎとり収穫体験も行います。

桃の収穫祭は7月中旬、とよみ産の新鮮な桃の販売や親子で楽しめる収穫体験を行うほか、桃にちなんだ商品を販売します。



四季新鮮収穫広場 た・から 創業祭



毎年5月、農産物直売所た・からは創業祭を開催しています。野菜の販売のほかトマト・きゅうりの詰め放題や広場での催し物などを行います。



豊富郷土資料館 企画展・ミニ企画展、こどもまつり

資料館では年間を通して企画展・ミニ企画展を行い、季節やそのときの話題を取り上げた展示をしています。また、こどもまつりや体験教室などのイベントも行っています。



陶芸工房

粘土を使ってオリジナルの陶器をつくります。絵付け体験も行っています。

シルクふれんどりい 郷土工芸体験

シルクふれんどりいでは体験工房にて郷土工芸の体験を行います。



まゆ工房

まゆを加工してシルクフラワーやマスコットなどを作ります。(まゆクラフト)



つむぎ工房

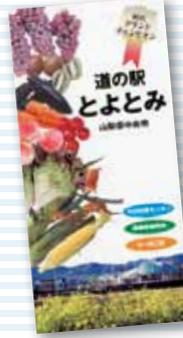
まゆの毛羽から糸を紡いでのはた織りをします。ハンカチの草木染めも行っています。

5. その他これまでの主な取り組み

- 中央市観光ガイドマップの作成
- 「ウォーキングコース」「サイクリングコース」「トレッキングコース」の中央市ぶらり散策マップの作成
- 各施設パンフレットの作成（各施設で作成）



観光ガイドマップ



各施設パンフレット

- 首都圏、サービスエリア、パーキングエリアでの特産品やパンフレットの配布による観光 PR



パンフレットの配布による観光 PR

- ヴァンフォーレ甲府サクスデーでの特産品 PR



ヴァンフォーレ甲府サクスデーにおける PR

- 山の神千本桜ハイキングの実施
- 観光案内マップ（看板）の設置
- 山の神千本桜ハイキングコースの整備
- 観光施設案内、誘導看板の設置 など



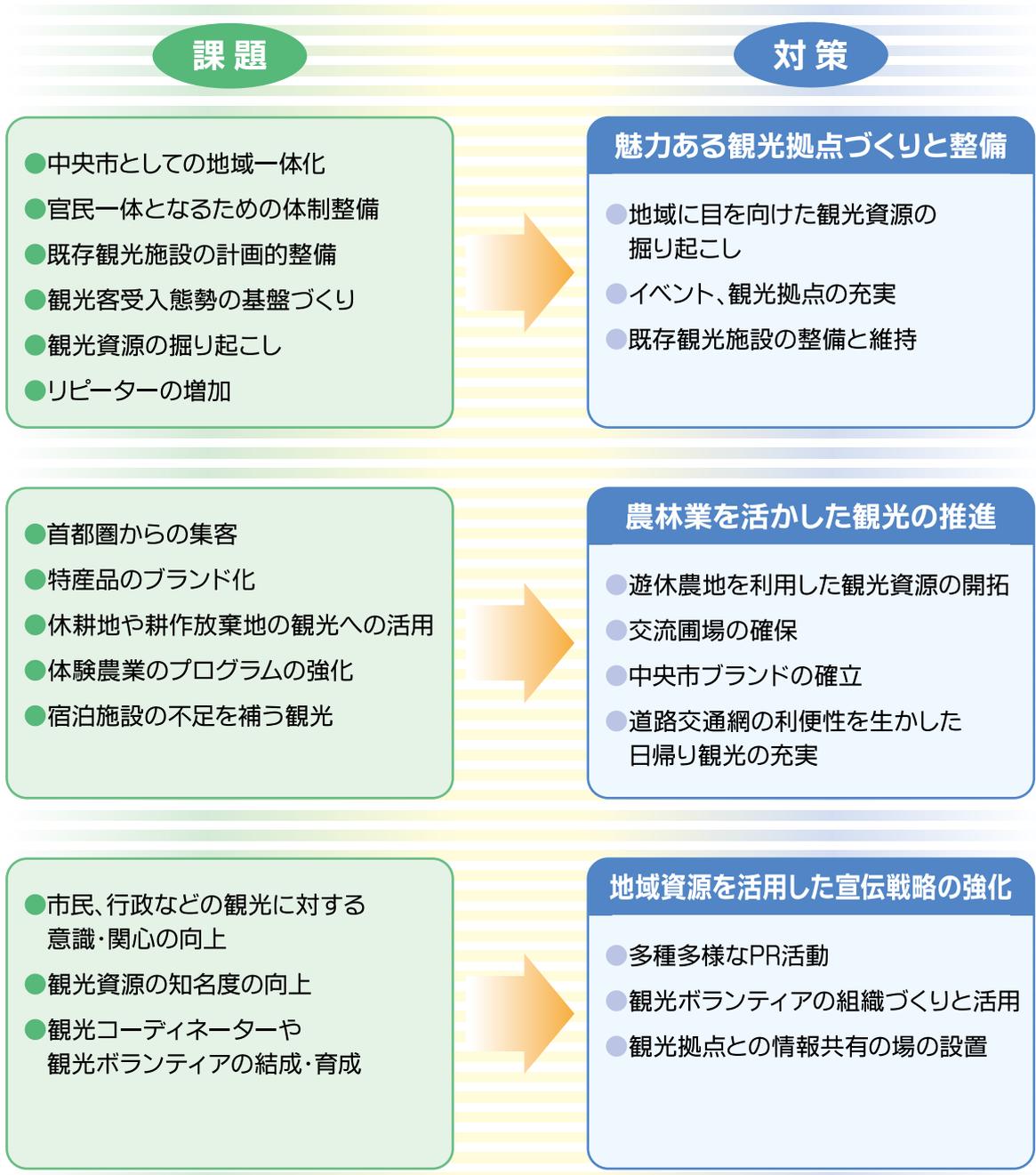
山の神千本桜ハイキングコース



観光案内看板の設置

2 中央市の観光の課題

中央市の観光による交流人口増加のための課題及び対応する対策は次のとおりです。





數值目標

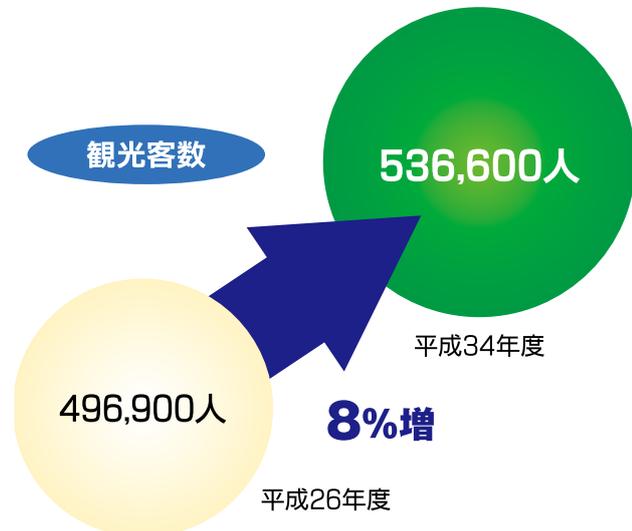
第3章 数値目標

中央市の将来像「爽り豊かな生活文化都市」の実現に向けた観光振興を進めるため、本計画の進捗状況や成果を検証及び評価できるよう、平成34年度までの目標値を次のとおり設定します。

観光客数8%増

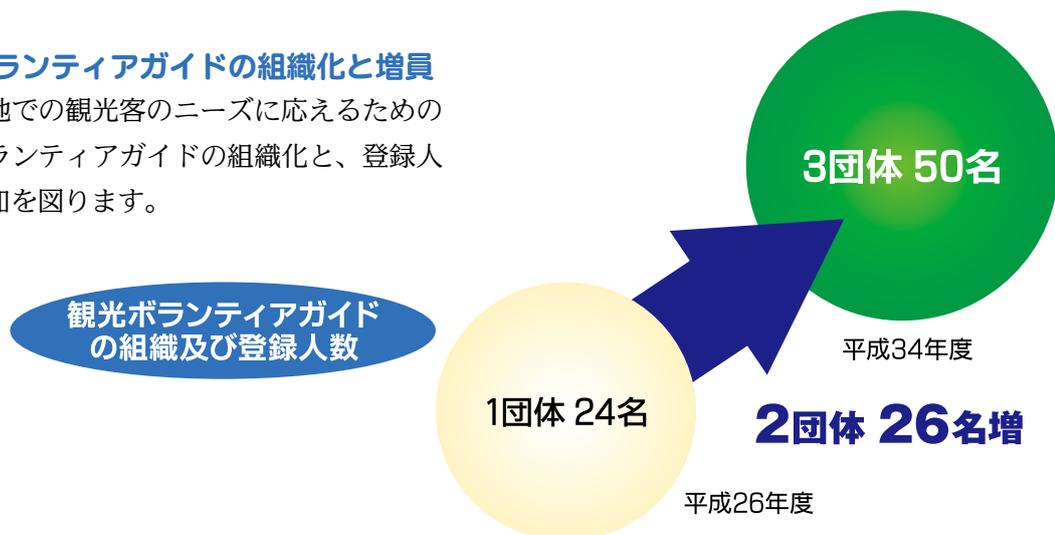
各主要施設観光入込客数（延べ人数）の合計8%増にすることを目標にするとともに、リピーターの確保に努めます。

※調査対象は集客が計れる公共施設である「道の駅とよみ」「四季新鮮収穫広場た・から」「シルクふれんどりい」「中央市豊富郷土資料館」とします。



観光ボランティアガイドの組織化と増員

到着地での観光客のニーズに応えるための観光ボランティアガイドの組織化と、登録人数の増加を図ります。





觀光振興施策・事業

第4章 観光振興施策・事業

1 施策の展開

中央市の観光による交流人口増加のための課題や地域の特性を踏まえ、目標達成のための施策を3つの基本方針により展開します。

1. 魅力ある観光拠点づくりと整備

中央市の歴史文化や地域伝統芸能の伝承などを取り入れた観光資源の掘り起こしと、既存観光施設の整備を行い、観光資源の充実を図ります。官民一体となった市民力による地域活性化を促進し、地域住民が楽しめる観光拠点の整備を行うことにより、県内外からの観光客の増加につながります。また、リニア開通に向けた新たな観光開発も必要となります。

●桜の里づくりの推進

桜は中央市の市の木であり「山の神千本桜」・「乙黒桜」・「妙泉寺のしだれ桜」の保全・継承に取り組み、良質な景観地点として観光に活用していきます。

●イベントの充実

スポーツ・農業・芸能文化など各分野で行われているイベントの洗い出しと内容検討を行い、計画的な開催によるイベントの充実を図ります。

●新たな観光ルートの設定

名所や文化財を巡る市内のウォーキングコースやお寺巡りコース、市内にある民間企業の見学など、中央市ならではの視点で隠れたスポットや楽しみ方を盛り込んだ観光ルートを設定します。

また、観光場所での案内ガイド等、ボランティアガイドが利用できる仕組みをつくります。

●観光資源の検証と活用

地域に眠っている美しい景観・歴史文化・伝統・郷土食・土産物などの掘り起こしや、現在ある、まゆ工房・つむぎ工房・陶芸工房や与一弓道場などの地域住民の趣味や技能を体験できる場の活用により、その魅力を県内外に発信し観光に生かす取り組みをしていきます。

●既存観光施設の整備

集客性を見込める既存観光施設の整備・維持を計画的に行うことにより、より一層の集客を図ります。

●リニア開通に向けた整備

リニア開通を視野にいれた観光拠点の選定と駐車場・トイレ・軽食販売などの整備に向けた検討を行います。



2. 農林業を活かした観光の推進

中央市の産業である農業と連携し、年間を通じた体験観光やイベントの開催により、観光客の誘致と地域の活性化を図っていきます。また、休耕地や耕作放棄地などの遊休農地を有効活用した新たな観光地点の整備を行います。

●遊休農地の観光利用

休耕地や耕作放棄地などの遊休農地を、体験耕作農地として県内外に紹介し、都市住民との交流活動に有効活用します。また、市の花であるれんげのほか、ひまわり、菜の花などで目でも楽しめる観光地点の開拓を進めます。

●交流圏場の確保と活用

体験耕作農地として交流圏場を確保し、グリーンツーリズム（都市農村交流）をはじめとする農業体験等を中心とした体験観光プログラムを充実させ、高速道路網や新山梨環状道路などの道路交通網の利便性を活かした首都圏からの観光客誘致につなげます。

●中央市特産品の開発と明確化

特産品であるトマト・とうもろこし・ブランド米「富穂」などに照準を当て、地域ブランドを確立していくことで市の特産品を明確化し、生産の奨励と販売の強化を行います。

また開発した特産品を観光PRや観光キャンペーンなどで活用することで地域の理解を図ります。

●農産物収穫体験場所の整備

市民、公社、NPO法人、民間会社などと協働し、季節の農産物の収穫体験ができる体験場所の検討や駐車場・トイレなどの整備を行い、日帰り農業観光の基盤づくりを図ります。

●ハイキング、レクリエーションの環境整備

山の神千本桜やたいら山といった市内の山林を散策できるようなハイキングコースや森林のバーベキューなど、自然を満喫できる環境整備を行います。

3. 地域資源を活用した宣伝戦略の強化

中央市のイメージアップと観光客誘致を行うための情報発信は不可欠であり、多種多様な手法での宣伝戦略が必要です。インターネット、新聞、テレビ、観光情報誌等での情報発信や高速道路サービスエリアへのパンフレット設置、イベントを通じた観光PRなど趣向を凝らした宣伝活動を推進します。また、観光場所での観光を有意義なものとするためのボランティアガイドの体制づくりを図ります。

● 中央市ホームページでの情報の充実

観光情報や桜の開花状況などをタイムリーに伝えるため、随時更新を行うことで、観光客のニーズに対応します。

● 観光情報の収集力および発信力の向上

市内における四季折々の観光情報を収集し整理を行い、新聞・観光情報誌などを活用した情報発信を行います。また、より充実させた中央市観光パンフレットの作成を行い観光PRに活用します。

● ターゲットを絞った重点的な観光PRの推進

首都圏をターゲットとした、サービスエリア・パーキングエリア・JRなどでの観光キャンペーンに参加し効率的・効果的なPRを実施します。中央市の特産品やご当地キャラクターなどを活用した観光PRで観光振興の強化を図ります。

● 旅行会社などへの情報提供や営業戦略

ツアーとして魅力が高いと考えられる観光拠点の受入体制を整え、旅行会社などへ積極的に紹介することで、新たな観光客の誘致を図ります。

● 他地域との相互交流の活性化

中央市の歴史文化と関わりのある、他縣市町村との交流を図り、相互交流の活性化を促進します。また積極的な情報発信を行い、県内外の方に歴史や文化に触れる機会を作ります。

● 観光ボランティアガイドの設置と活用

各分野における観光案内ができる観光ボランティアガイドを設置し、活用できる体制を整えることで、充実した観光案内ボランティアの育成を図ります。

● 情報共有の場の設置

各観光拠点の取り組み状況について、情報共有ができる場を定期的に設け、円滑な観光振興の推進を図ります。

2 観光振興施策・事業の段階的な取り組みの推進

主な観光振興施策事業の段階的な取り組み

	第Ⅰ期 (概ね2年以内に着手)	第Ⅱ期 (概ね4年以内に着手)	第Ⅲ期 (概ね8年以内に着手)
魅力ある拠点づくりと整備	<ul style="list-style-type: none"> ● 桜の里づくり景観場所の選定 ● イベントの洗い出し ● 市内ウォーキングコースなどの地域資源の抽出 ● 既存観光施設の整備計画と実施 	<ul style="list-style-type: none"> ● 桜の里づくり景観場所整備 ● 地域資源の活用 ● 既存観光施設の整備 	<ul style="list-style-type: none"> ● リニア開通に向けた良質な景観場所の開拓
農林業を活かした観光の推進	<ul style="list-style-type: none"> ● 体験農業プログラムの内容の検討と実施 ● たいら山登山コースの整備 ● 遊休農地活用場所の検討 ● 特産品の開発検討 	<ul style="list-style-type: none"> ● 特産品の開発 ● 空き農地や交流圃場を活用し、れんげの花などの育成 	<ul style="list-style-type: none"> ● 遊休農地の観光利用と交流圃場の確保 ● 収穫体験場所等の整備
地域資源を活用した宣伝戦略の強化	<ul style="list-style-type: none"> ● HP、観光パンフレットの見直し ● ボランティアガイドの登録・活用 ● 浅利与一義成公の妻板額姫とゆかりのある新潟県胎内市との交流検討 ● 旅行業者等への商談による観光客誘致 ● 観光情報の整理、発信 ● 定期的な情報共有の場の開催 	<ul style="list-style-type: none"> ● ボランティアガイドの育成 ● 観光振興推進委員会(仮称)の開催 	<ul style="list-style-type: none"> ● 新たな観光資源を活用した観光PR



観光施設・資源



- A** 道の駅とよとみ
- B** 四季新鮮収穫広場た・から
- C** シルクふれんどりい
- D** 中央市田富福祉公園コミュニティセンター
- E** 中央市豊富健康福祉センター
- F** 中巨摩広域事務組合老人福祉センター
- G** 中央市豊富郷土資料館
- H** 中央市与一弓道場
- I** シルクの里公園
- J** 中央市田富ふるさと公園（水辺の楽校）
- K** 中央市玉穂ふるさとふれあい公園
- L** 山の神千本桜
- M** 乙黒桜
- N** 妙泉寺のしだれ桜
- O** たいら山

① ~ ③⑤ コミュニティバス「とまちゅうバス」路線・停留所

A 道の駅とよとみ

直売所甲子園 2009 で初代グランドチャンピオンに輝いた「道の駅とよとみ」。

地元の新鮮な野菜や果物を販売し、各種野菜の加工・販売を農家（生産者）が手掛ける「6次産業化」を推進しています。とうもろこし焼酎、ブランド米「富穂」、シルク工芸品などの特産品や地元企業製品も勢揃い。「与一味工房」ではハム、ソーセージなどの加工と販売をしています。



B 四季新鮮収穫広場 た・から

平成 18 年 5 月にオープンした農産物直売所「た・から」は、中央市の田から、畑から、土の恵みと人の恵みが勢揃い。採りたて、もぎたて、掘りたて、つくりたて。いつも新鮮な季節の野菜や果物が並んでいます。



C シルクふれんどりい

豊富地区の「シルクふれんどりい」はシルク工芸館とふれあい館を併設した宿泊施設で、日本有数の高アルカリ性（PH9.8）温泉が利用できます。工芸館ではつむぎ織り、陶芸のほかまゆ玉を使ったシルクフラワー制作などの工芸体験ができます。地元の食材・野菜・果物を使ったレストランも人気です。



D 中央市田富福祉公園コミュニティセンター

温泉入浴ができ、ゲートボール場・テニスコート・公園と併設されている施設です。

E 中央市豊富健康福祉センター

1 階には男女浴室やラウンジコーナー、2 階には集会室・娯楽室・作業工作室・相談室があり、温泉泉質が全国でも珍しい PH9.8 あり、動脈硬化症や慢性皮膚病に効果大です。

**F** 中巨摩広域事務組合老人福祉センター

本施設は成人であれば世代や地域を問わず気軽に利用でき、温泉は地下700mから毎分400ℓが湧出しています。

G 中央市豊富郷土資料館

豊富郷土資料館は豊富地区で発掘された埋蔵文化財や民具・農具など民俗資料や養蚕資料5,000点以上を収集・展示しています。マスコットキャラクターとして「まゆこ」がPRに起用されています。また、季節ごとに様々なイベントや企画展を開催しています。

**H** 中央市与一弓道場

甲斐源氏の武将で弓の名手の「浅利与一義成公」にちなんで名づけられた弓道場です。10人立での試射ができ、市内の愛好家はもとより県内外の利用者による練習、大会などを行っています。弓道場の隣には「浅利与一義成公」の墓所もあり、弓道練習の合間にお参りをする方も多く見受けられます。

**I** シルクの里公園

スペースネットやふわふわドームなどの遊具があり、子どもから大人まで遊べ、八ヶ岳・北岳が一望できるロケーションを持っている公園です。

**J** 中央市田富ふるさと公園（水辺の楽校）

様々な遊具があり、水生生物、水辺に飛んでくる野鳥、富士山などを楽しむことができます。また、粘土節保存碑が設置してあり、粘土節を聞くことができます。



K 中央市玉穂ふるさとふれあい広場

公園には多目的に使える施設があり、幅広い年齢層の憩いの場となっています。また4月には「乙黒桜」が咲き誇ります。



L 山の神千本桜

昭和40年から3年間かけて、参道入口から神社までの山道（約2.4km）の両側に、地元の人たちが昔からあったものに加えて補植していったものです。長く急な坂道を麓から順に咲き移っていきます。また、頂上付近から八ヶ岳や南アルプスの山々が望むことができます。特に北岳を望む景色は絶景です。



M 乙黒桜

正式には「駒つなぎ」という山桜の系統の種類で、白く大きな花を咲かせるのが特徴です。昭和7年に土手の改修工事のため乙黒桜は伐採され、少なくなっていました。現在繁殖・保存に力を入れており、玉穂ふるさとふれあい広場以外に長林寺でも乙黒桜を見ることができます。



N 妙泉寺のしだれ桜

妙泉寺は子どもと安産の守り神である鬼子母神が奉られているお寺です。境内の中央には大きなしだれ桜があり、堀沿いにも綺麗に桜が植えられています。また、妙泉寺には市指定無形文化財「粘土節」の歌い手であった「おたかやん」の像があります。



O たいら山

市の最高峰であるこの山は、国土地理院の地図によると豊富地区の934mの山であることが分かりましたが、名前については詳細地図にも載っておらず不明だったため、愛称を募集し「たいら山」と決めました。麓から2時間、大峠と関原峠の間にあり、市内全域から見える山です。頂上は平坦で、落葉樹の原生林となっています。新規登山ルートとして計画をしています。



特産品

●農産物（トマト・ナス・スイートコーン）

中央市の農業では、野菜を中心とする近郊農業が主流となっています。主なものとしてトマト、ナス、スイートコーンが有名です。



●懐かしの味 「青春のトマト焼そば」

中央市商工会では、中央市産のフルーツトマトやフジザクラポークを使用した「青春のトマト焼そば」を販売・提供しています。



●中央市商工会キャラクター「とまチュウ」

山梨県内で最大の収穫量を誇り中央市の特産品であるトマトをイメージし、2014年3月に誕生しました。特産品のトマトや中央市の魅力をPRするため多くのイベントで活躍しています。



●ハム、ソーセージ、 とうもろこし焼酎「恵」、 ワイン「夢」

道の駅とよとみ「与一味工房」では、地元で飼育されたこだわりの豚肉甲州フジザクラポークを材料とした、とよとみハムや地元産のとうもろこしを使用した焼酎「恵」・ワイン「夢」などを販売しています。





●ブランド米「富穂」

中央市のブランド米として、農薬・化学肥料を減らした米「富穂」の商標登録をし、人気が高まっています。



●郷土工芸作品

シルクふれんどりいでは3つの工房で工房体験や作品の販売をしています。



まゆ工房



つむぎ工房



陶芸工房



●中央市イメージキャラクター

中央市のイメージキャラクターとして、中央市在住の漫画家田中正仁さんによってイラスト化され、PRや広報などで活用されています。

●浅利与一

正式には「浅利与一義成公」と呼ばれ、甲斐源氏の武将で、壇ノ浦の戦いで活躍した弓の名手です。那須与一・佐奈田与一とともに「三与一」と呼ばれています。

●お高やん

明治20年に内務省直轄工事として築堤工事を行った際に、市指定無形文化財に登録されている「粘土節」が男女間で歌われ、美しい歌声で音頭をとったのが「お高やん」という女性とされています。



●ファーストシルク

ファーストシルクとは繭の毛羽であり、蚕が繭を作る時に吐く、一番初めの繊維のことです。商標登録を受け、ファーストシルクを使った作品をシルクふれんどりい（つむぎの会）で制作し、展示、販売をしています。



中央市文化財

※中央市文化財ガイドより抜粋



木造薬師如来坐像
(国指定重要文化財)



八幡穂見神社本殿
(県指定文化財)



浅利与一層塔附五輪塔六基
(県指定文化財)



木造普化禪師坐像
(市指定文化財)



八幡大神社本殿
(市指定文化財)

No.	文化財名称	指定	種別	員数	時代	所在	所有・管理者	指定年月日
1	木造薬師如来坐像	国	彫刻	1 躯	平安	下三条 88	歓盛院	明治 39 年 9 月 6 日
2	木造聖観音菩薩立像	国	彫刻	1 躯	平安	下河東 880	永源寺	明治 39 年 9 月 6 日
3	旧小井川郵便局	国登	建造物	1 棟	近代	布施 2051	関敦隆	平成 10 年 12 月 11 日
4	八幡徳見神社本殿	県	建造物	1 棟	江戸	布施 2034	八幡徳見神社	昭和 40 年 5 月 13 日
5	甲斐国志草稿本及び編集諸資料	県	書跡	3152 点	江戸	西花輪 89	内藤幹彦	昭和 40 年 8 月 19 日
6	浅利与一層塔附五輪塔六基	県	建造物	1 基	鎌倉	大鳥居 1621	大福寺	昭和 46 年 4 月 8 日
7	木造薬師如来坐像	県	彫刻	1 躯	平安	大鳥居 1621	大福寺	平成 18 年 4 月 27 日
8	大福寺破損仏群	市	歴史資料	37 点	平安	大鳥居 1621	大福寺	平成 19 年 12 月 5 日
9	木造聖観音菩薩立像	市	彫刻	1 躯	平安	大鳥居 1621	大福寺	昭和 45 年 3 月 1 日
10	木造多聞天立像	市	彫刻	1 躯	平安	大鳥居 1621	大福寺	昭和 50 年 3 月 1 日
11	木造不動明王立像	市	彫刻	1 躯	鎌倉	大鳥居 1621	大福寺	昭和 50 年 3 月 1 日
12	木造不動明王立像	市	彫刻	1 躯	平安	大鳥居 1621	大福寺	昭和 50 年 3 月 1 日
13	石造六地藏菩薩立像	市	彫刻	6 躯	江戸	関原 1314	慈蓮院	平成 4 年 2 月 10 日
14	木造延命地藏菩薩立像	市	彫刻	1 躯	平安	木原 1076	延命寺	平成 4 年 2 月 10 日
15	木造釈迦如来坐像	市	彫刻	1 躯	室町	下三条 88	歓盛院	平成 8 年 9 月 24 日
16	木造聖観音菩薩坐像	市	彫刻	1 躯	室町	中橋 1332	龍徳寺	平成 8 年 9 月 24 日
17	木造毘沙門天・持国天立像	市	彫刻	2 躯	鎌倉	乙黒 661	蓮華寺	平成 5 年 2 月 22 日
18	木造普化禅師坐像	市	彫刻	1 躯	江戸	下河東 880	永源寺	昭和 50 年 3 月 2 日
19	古文書	市	文書	1 通	江戸	下河東 880	永源寺	平成 5 年 2 月 22 日
	葵金具付御簾		工芸品	2 竿				
20	明暗寺尺八	市	工芸品	2 管	江戸	乙黒 676	田中伐平	昭和 50 年 3 月 2 日
21	明暗寺屋根瓦	市	工芸品	2 枚	江戸	乙黒 668	田中忍	昭和 50 年 3 月 2 日
				1 枚		下河東 880	永源寺	
22	八幡大神社本殿附棟札	市	建造物	1 棟	江戸	西花輪 3976	八幡大神社	昭和 63 年 2 月 9 日
23	長徳院本堂	市	建造物	1 棟	江戸	西花輪 1446	長徳院	平成 11 年 10 月 1 日
24	諏訪神社本殿	市	建造物	1 棟	江戸	東花輪 700	諏訪神社	昭和 63 年 2 月 9 日
25	三星院の梵鐘	市	工芸品	1 口	江戸	木原 1800	三星院	平成 15 年 6 月 6 日
26	田安明神	市	史跡		江戸	大鳥居 1967	大鳥居自治会	昭和 45 年 3 月 1 日
27	王塚古墳	市	史跡		古墳	大鳥居 4256	大鳥居自治会	昭和 45 年 3 月 1 日
28	平田宮第 2 遺跡出土木製品	市	考古資料	136 点	平安	臼井阿原 301-1	中央市	平成 19 年 12 月 5 日
29	石造十王像附奪衣婆像 懸衣翁像	市	有形民族	10 躯附 各 1 躯	江戸	大鳥居 194	龍光院	平成 7 年 9 月 18 日
30	粘土節	市	無形民俗		近代			昭和 56 年 3 月
31	山宮のケヤキ	市	天然 記念物	1 本	樹齢 700 年	大鳥居 2764-1	浅間愛鷹 神社	昭和 45 年 5 月 30 日
32	延命寺のイチヨウ	市	天然 記念物	1 本	樹齢 300 年	木原 1076	延命寺	平成 4 年 2 月 10 日
33	石原家のケヤキ	市	天然 記念物	3 本	樹齢 500 年	関原 1333	石原喜文	平成 4 年 2 月 10 日
34	七覚川河川敷のケヤキ	市	天然 記念物	1 本		高部公民館前	高部自治会	平成 4 年 2 月 10 日
35	木造薬師如来坐像	市	彫刻	1 躯	平安	乙黒 624	蓮華寺	平成 23 年 2 月 1 日
36	上窪遺跡（5 次）墓跡出土品一括	市	考古資料	54 点	平安	臼井阿原 301-1	中央市	平成 23 年 12 月 6 日
37	有泉家の算木	市	歴史資料	1 式	江戸	大鳥居 134	有泉松男	平成 26 年 4 月 8 日

※統一をとるため指定名称を若干変更した。

平成 27 年 4 月（現在）

国指定重要文化財

1 木造薬師如来坐像

歎盛院 彫刻

歎盛院薬師如来坐像は、現在、同寺の本堂内特設保存庫に収蔵安置されています。枳材の一木造、彩色像で、像高 84.7cm とそれほどの巨像ではありませんが、堂々とした姿の立派な坐像です。

2 木造聖観音菩薩立像

永源寺 彫刻

永源寺聖観音菩薩立像は、側面で前後に縦はぎされた頭体部に両ひじ、両手首、両足先、天衣等をはぎ付けた檜材寄木造、漆箔の立像です。

国登録文化財

3 旧小井川郵便局

布施 建造物

昭和 5 年（1930）頃に建てられたと伝わっています。木造 2 階建洋風建築。1 階部分の煉瓦調のスクラッチタイルを貼った外壁と、2 階の白漆喰壁とを対比させた意匠は今も斬新さを保っています。「歴史的景観に寄与している建築物」として国の有形文化財に登録されました。

県指定文化財

4 八幡穂見神社本殿

布施 建造物

社宝の鼻高たけだしょうようけんのおつなの面は武田道遥たけだまき軒信綱（武田信玄の弟）の作とされています。何度か改修がされているものの、室町あるいは桃山の様式を伝える貴重な遺構です。

5 甲斐国志草稿本及び編集諸資料

西花輪 書跡

「甲斐国志」は松平伊代守定さだまさ能が文化 11 年（1814）に完成させ、徳川幕府に献進した 124 卷にわたる甲斐国全般の地誌です。江戸時代に成立した多くの地誌の中で白眉と評されるほどのすぐれた内容をもった典籍と知られ、高い評価を受けています。

6 浅利与一つきたり層塔 附 五輪塔六基

大福寺 建造物

源平合戦での弓の名手であり、平安時代から鎌倉時代にかけて当時の豊富地区一帯を治めていた浅利与一義成の墓所です。中心にある石塔が与一の墓で、周りの五輪塔はその一族のものとして残っています。

7 木造薬師如来坐像

大福寺 彫刻

本像は、大福寺境内の一番奥まった薬師堂内に安置されています。木造彩色、寄木造で、像高 280cm におよぶ県内屈指の巨像です。

市指定文化財

8 大福寺破損仏群

大福寺 歴史資料

本群像は、薬師堂外陣の左右に安置されています。総数は37ですが、朽損により、ほとんど形がわからなくなったものも含まれ、個別の像として確認できるのは19軀です。

9 木造聖観音菩薩立像

大福寺 彫刻

本像は、観音堂に安置され、内陣扉の前に立っているので、通称「前立て観音」と呼ばれています。像高169cm、ひのき材の寄木造で、彫眼の彩色像です。衣文の彫法などから、制作時期は平安時代後期の12世紀頃と推定されています。

10 木造多聞天立像

大福寺 彫刻

本像は、木造一木造、像高100cm、甲に身を固め、武装した姿で表現されています。制作時期は平安時代後期と推定されています。

11 12 木造不動明王立像

大福寺 彫刻

大福寺には、不動明王像が2軀あり、いずれも観音堂に安置されています。①は木造一木造で、像高97.5cm。力感にあふれた力強い肉付けや、写実的な裳裾の線などから、制作時期は鎌倉時代と推定されています。②は、木造一木造で、像高100cm。①に比し、下半身の衣の形式なども優しく、薄手の布の質感を表しており、制作時期は平安時代後期と推定されています。

13 石造六地藏菩薩立像

慈運院 彫刻

慈運院境内にあり、入口の左脇に本堂と向き合う形で6体が並び立っています。いずれも石造の丸掘りで、各1体ずつ石に刻まれたものです。像高は86～88cm。両端の像の背には「宝暦九年十一月」（1759）と銘が刻まれています。

14 木造延命地藏菩薩立像

延命寺 彫刻

木造彩色、寄木造で、像の高さ78cm。立像で、蓮座の上に立っています。右手に錫杖を持ち、左手は欠損しているが恐らく宝珠を持っていたと思われます。制作時期は平安時代後期と推定されています。普段は後世に造られた厨子の中に納められています。

15 木造釈迦如来坐像

歓盛院 彫刻

像高31cm、檜材の寄木造、玉眼入り胡粉地彩色像です。納衣の各所に細やかな唐草文や盛り上文様が認められ、胸前の衣文の彫りや曲線の手法等からは、この坐像が中世鎌倉時代以後君臨した院派の影響を強く受けた像であることが分かります。

市指定文化財

16 木造聖観音菩薩坐像

龍徳寺 彫刻

像高 31.8cm、檜材の寄木造、玉眼入り、胡粉地彩色像です。いく分、眦のつり上がった切れ長の眼差し、固く結ばれた唇、角張って平板な面貌、いかつさの感じられる肩張りや膝の肉付けなどから受ける印象は、観音菩薩の優しさというよりは厳しさを感じさせます。制作時期は室町時代初期と推定されています。

17 木造毘沙門天・持国天立像

蓮華寺 彫刻

毘沙門堂は長林寺の北、山伏川（今川）に架かる富士見橋の東に建ち、蓮華寺が管理しています。この堂内に、毘沙門天・持国天立像が祀られています。両像とも一木造から寄木造に移行する途上の割り矧ぎの手法によって造像されており、鎌倉時代の作と推定されています。毘沙門天 96cm、持国天が 104cm と像高は比較的高い。重厚感がにじみ、造頭当初の力強い面影を今も留めています。

18 木造普化禪師坐像

永源寺 彫刻

普化禪師は、普化宗の開祖です。像高 43cm、檜材の寄木造、挿首、玉眼入り胡粉地彩色像です。制作時期は江戸時代末期とされ、明治 4 年の明暗寺廃絶後、古くから係わりのあった永源寺に移されました。

19 古文書一通・葵金具付御簾二竿

永源寺 文書・工芸品

古文書は、安永甲午年（1774）2月吉日付で、明暗寺八世住職貴光大和尚から巨摩郡地頭田中盛左衛門に宛てた文書です。御簾は二竿とも長さ 168.5cm、幅 44.3cm。一对の釣り金具に葵紋が刻まれ、本体上部に「日輪」「月花」、下部に和歌と思われる墨書が認められますが、現時点では解読できません。

20 明暗寺尺八二管

個人蔵 工芸品

尺八は、普化宗にとって最も重要な宗具の一つで、これが吹けなければ虚無僧としての免許状はもちろん、諸国を托鉢することもできませんでした。

21 明暗寺屋根瓦三枚

永源寺
個人蔵 工芸品

大きさから推測して、三枚とも明暗寺の主要建造物の屋根瓦だったと考えられています。

22 八幡大神社本殿附棟札

西花輪 建造物

本殿は、建坪約 7.34㎡の三間社母入屋造で、現在は銅版葺きです。一部後世で補修が加えられていますが、手法の多くは江戸時代初期の様相を残しています。現存する棟札によると明暦 3 年 4 月（1657）建立です。

市指定文化財

23 長徳院本堂

西花輪

建造物

華輪山長徳院は、慶長元年4月（1596）創建と伝えられています。現在は銅版葺きに改修されていますが、柱など骨組みの部分は当初の形式をよく残しており、本市における江戸期の建造物として数少ない貴重な遺構です。

24 諏訪神社本殿

東花輪

建造物

当社は往古より豊富地区浅利の諏訪神社より勧請されたものといわれています。棟札によると本殿の建立は、延宝4年（1676）で当初は檜皮葺でしたが、現在は銅版葺になっています。文政10年（1827）に再建されました。

25 三星院の梵鐘

三星院

工芸品

現在の鐘楼は、大正6年（1917）の再建といわれています。鑄造による制作で、総高122.5cm、鐘身高90.3cm、口径69.6cmあります。

26 田安明神

大鳥居

史跡

江戸時代中期以降の大鳥居地区は、上大鳥居村といい、江戸時代の御三卿の1つである田安家の所領地でした。三代齊匡が文政2年（1819）、中納言に任じられたのを祝い、翌年にこの田安明神を奉祀したといわれています。

27 王塚古墳

大鳥居

史跡

海拔342メートルの宇山平丘陵の頂点にある前方後円墳です。形式は前方後円墳ですが、特に前方部が短いために帆立貝式古墳と呼ばれています。時期は古墳時代中期の5世紀後半で、現状の全長は61.2mで、後円部径約40m、高さ7mあります。山梨県で唯一の合掌式石室の形態を有します。

28 平田宮第2遺跡出土木製品（136点）

考古資料

低湿地の集落遺跡である平田宮第2遺跡（遺跡の所在地は下河東）は、その立地から木製品の残存状態が他地域の遺跡より極めて良好です。

29 石造十王像附奪衣婆像・懸衣翁像

龍光院

有形民俗

山門を入ると右手に他の石造物とともに、いずれも石造の丸彫りで、10躯そろって並んでいます。年代は、銘がないため不明。十王像の左側に奪衣婆像と懸衣翁像が位置しています。銘を持たないため制作時期は特定できませんが、江戸時代中期から後期にかけてのものと推定されます。石造十王像は数少なく、十王がすべて揃っている点で貴重です。

市指定文化財

30 粘土節

無形民俗

粘土節は、本県釜無川流域の堤防工事に従事した男女の間に歌い継がれた作業歌と伝えられています。粘土を盛り、杵と平打ちを使い日夜築堤作業に精魂を傾け、7年の歳月をかけて現在の堤防がつくられました。このとき、本市釜無川土手の工事に集まった男女の間で歌われたのが「粘土節」です。

31 山宮のケヤキ

大鳥居 天然記念物

山宮組の浅間愛鷹神社にある1本の大きなケヤキ。高さ約17m、現在の地上から1.5mの幹まわりは8.8m、根元のまわりが12.7mあります。この木の幹の下は老木のために腐って「うろ」という空洞の状態になっています。樹齢は、恐らく700年はたっているものと思われます。

32 延命寺のイチヨウ

木原 天然記念物

延命寺境内前庭にあり、高さ約15m、地上から1.5mの幹まわりは、3.42mあります。樹齢は、約300年であると考えられます。

33 石原家のケヤキ

関原 天然記念物

関原の石原家の屋敷地内にある大きくて立派なケヤキ。戦前には数本ほど残っていたが、第2次世界大戦中に供出してしまい、現在は南北に3本並列して現存しています。いずれも高さ約23m、現在の地上から1.5mの幹まわりは、5m前後あり、樹齢は、約500年と思われます。

34 七覚川河川敷のケヤキ

高部 天然記念物

滝戸川と合流する手前の七覚川河川敷土手にある1本のケヤキの木。根元は現在、土手の中に埋もれてその様子がわかりません。高さ約33m、現在の地上から1.5mの幹まわりは、5.37mあります。

35 木造薬師如来坐像

蓮華寺 彫刻

草稿38.5cm、ケヤキ材の一木造りで政策は平安時代前期まで遡ります。

36 上窪遺跡（5次）墓跡出土品一括

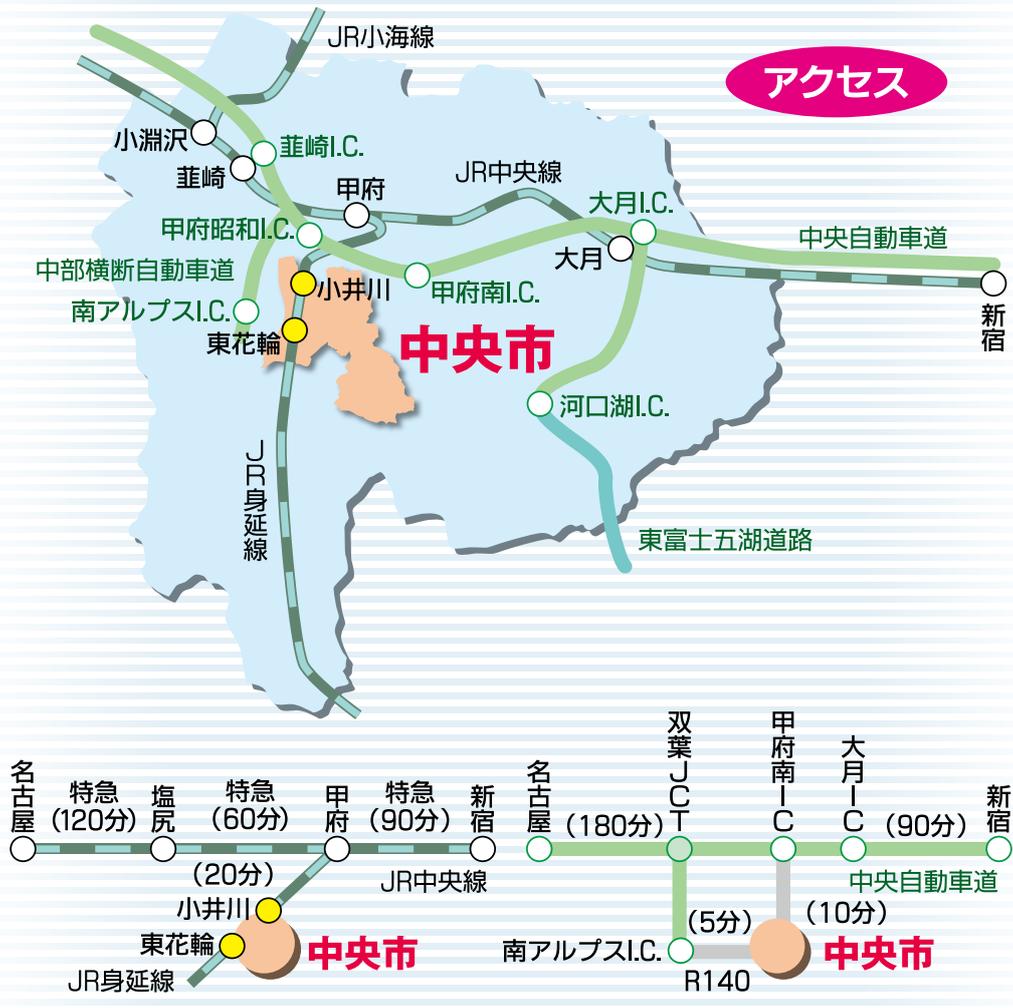
考古資料

古代の墓跡から出土したクシ・下駄などの副葬品などになります。

37 有泉家の算木

大鳥居 歴史資料

江戸時代に製作された和算の計算器具です。



中央市観光振興基本計画策定検討委員会		
会長	小池 章治	中央市議会産業土木常任委員会委員長
委員	佐々木 一	中央市農業委員会会長
	田中 孝雄	中央市自治会長会長
	浦田 勉	中央市商工会会長
	河野 裕治	中央市商工会青年部長
	田島 聡	中央市文化財保護審議会副会長
	川口 富男	四季新鮮収穫広場た・から代表理事
	長田 茂夫	(一財) 中央市農業振興公社事務局長
	有泉 雪代	中央市まゆ工房
	加藤 正之	識見者 (一般公募)
	水上 文徳	識見者 (一般公募)
	増田 レア	識見者 (一般公募)
	萩原 一春	中央市副市長 (一財) 中央市農業振興公社理事長
	河野 照雄	中央市農政課長
事務局	中央市商工観光課	



市章

中央市の「中」の文字を基調に「実り豊かな生活文化都市・中央市」を抽象的に表現。緑は大地と青葉、橙は太陽、青は空と清流で自然に恵まれた中央市をイメージしている。



市の花・れんげ草



市の木・桜



市の鳥・しらさぎ

実り豊かな生活文化都市

中央市観光振興基本計画

発行日 平成 27 年 6 月

編集・発行

山梨県中央市役所

商工観光課

〒400-1594

山梨県中央市大鳥居3866

☎055-274-8582

印刷 株式会社 山梨新報社